



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 日進工具株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6157 URL <https://www.ns-tool.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 弘治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 足立 有子 TEL 03-6423-1135
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,932	△6.0	1,263	△13.6	1,265	△13.8	832	△14.4
2019年3月期第2四半期	5,247	11.9	1,462	19.3	1,467	18.1	972	7.2

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 825百万円 (△14.0%) 2019年3月期第2四半期 960百万円 (6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	66.59	66.35
2019年3月期第2四半期	77.79	77.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	15,754	14,033	88.3	1,112.50
2019年3月期	15,381	13,461	87.1	1,071.48

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 13,910百万円 2019年3月期 13,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,590	△8.5	2,150	△25.3	2,160	△25.4	1,460	△25.9	116.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	12,504,000株	2019年3月期	12,504,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	477株	2019年3月期	477株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	12,503,523株	2019年3月期2Q	12,503,624株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、米中貿易摩擦が激化、長期化するなか、海外経済の減速に伴う輸出の鈍化や世界的なIT需要の回復の遅れなどから、弱含む展開となりました。

当社グループ製品の主要需要先の状況といたしましては、自動車関連では、年初からの国内新車販売台数は前年同期に比べ増加したものの、最大の市場である中国でローカルメーカーを中心に販売が大きく減少したため、部品供給を行う国内メーカーへの影響がみられました。また電子部品・デバイス関連では、車載向けは増加がみられたものの、スマートフォンの出荷が引き続き減少傾向となるなか、全体としては弱い動きとなりました。このような環境のなか工具需要は減少傾向となり、当社グループの第2四半期における業績も減収減益を余儀なくされました。

当社グループでは、「INTERMOLD（東京及び名古屋）」や「機械要素技術展（名古屋）」、ドイツで開催された「EMO」等の国内外の展示会に出展し、PCD（多結晶ダイヤモンド）やCBN（立方晶窒化ホウ素）を使用したエンドミルを中心に精密・微細加工に関する情報発信を積極的に行ったほか、昨年より発売を開始した銅電極加工用ロングネックエンドミルシリーズにラジラス形状の「DHR237R」を追加したほか、「ロングテーパーネック2枚刃ボールエンドミル（MRBTN230）」の規格拡大を図る等ラインアップの充実にも努めました。また生産面では、自動化の推進や生産効率の向上に継続して取り組みました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,932百万円（前年同期比6.0%減）、営業利益は1,263百万円（同13.6%減）、経常利益は1,265百万円（同13.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は832百万円（同14.4%減）となりました。

製品区分別の売上高では、「エンドミル（6mm以下）」が3,743百万円（前年同期比4.9%減）、「エンドミル（6mm超）」が490百万円（同16.1%減）、「エンドミル（その他）」が346百万円（同4.0%増）、「その他」が350百万円（同10.5%減）となりました。

（注）報告セグメントが1つでありますので、製品区分別に記載しております。なお「その他」の事業セグメントは、製品区分別の「その他」に含めております。

(2) 財政状態に関する説明

第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は373百万円増加し15,754百万円となりました。これは主に、建設仮勘定の増加等によるものであります。

また、負債は前連結会計年度末と比較して198百万円減少し、1,720百万円となりました。これは主に、役員賞与引当金及び賞与引当金の減少等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して、利益剰余金の増加などにより571百万円増加し14,033百万円となりました。なお、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は88.3%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

米中貿易摩擦が激化、長期化するなか、第3四半期以降におきましても輸出や設備投資が停滞する可能性が高くなっており、工具需要も期初の想定以上に厳しい状況となっております。

このような環境のなか当社グループでは、生産量の抑制に伴い従来に比べ生産効率が低下すると想定されるほか、新開発センターの竣工やプライベートショーの開催による販管費の増加を避けられないこと等から、通期業績予想につきまして、前回発表予想を下回るものと判断いたしました。

詳細につきましては、本日（2019年10月31日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,209,551	6,080,689
受取手形及び売掛金	1,531,469	1,391,710
商品及び製品	1,270,745	1,384,537
仕掛品	318,832	246,893
原材料及び貯蔵品	466,463	543,554
その他	134,979	94,604
流動資産合計	9,932,041	9,741,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,344,102	1,307,458
機械装置及び運搬具(純額)	1,980,234	1,863,917
土地	669,233	692,528
建設仮勘定	529,426	1,225,564
その他(純額)	162,917	167,718
有形固定資産合計	4,685,914	5,257,188
無形固定資産	84,393	69,554
投資その他の資産		
投資有価証券	52,550	51,785
繰延税金資産	349,712	352,387
その他	276,796	281,893
投資その他の資産合計	679,059	686,066
固定資産合計	5,449,366	6,012,808
資産合計	15,381,408	15,754,798

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	277,580	271,843
未払法人税等	374,802	429,889
賞与引当金	282,094	233,203
役員賞与引当金	164,520	71,361
その他	544,843	459,956
流動負債合計	1,643,841	1,466,253
固定負債		
長期未払金	275,688	254,736
固定負債合計	275,688	254,736
負債合計	1,919,530	1,720,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	442,900	442,900
資本剰余金	405,800	405,800
利益剰余金	12,552,577	13,072,607
自己株式	△813	△813
株主資本合計	13,400,463	13,920,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,781	4,246
為替換算調整勘定	△7,940	△14,606
その他の包括利益累計額合計	△3,158	△10,360
新株予約権	64,573	123,675
純資産合計	13,461,878	14,033,808
負債純資産合計	15,381,408	15,754,798

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	5,247,380	4,932,211
売上原価	2,226,159	2,162,094
売上総利益	3,021,221	2,770,117
販売費及び一般管理費	1,558,755	1,507,043
営業利益	1,462,465	1,263,073
営業外収益		
受取利息	18	16
受取配当金	243	599
作業くず売却益	9,890	7,765
その他	3,396	1,514
営業外収益合計	13,548	9,895
営業外費用		
為替差損	8,711	7,526
その他	30	15
営業外費用合計	8,741	7,542
経常利益	1,467,272	1,265,426
特別利益		
固定資産売却益	47	2,801
特別利益合計	47	2,801
特別損失		
固定資産売却損	193	48
固定資産除却損	12,446	286
特別損失合計	12,639	334
税金等調整前四半期純利益	1,454,680	1,267,893
法人税等	482,028	435,275
四半期純利益	972,651	832,618
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	972,651	832,618

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	972,651	832,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△199	△535
為替換算調整勘定	△12,401	△6,666
その他の包括利益合計	△12,601	△7,202
四半期包括利益	960,050	825,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	960,050	825,416
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当社及び一部の子会社について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表)

「長期未払金」(前連結会計年度 275,688千円)の表示方法は、従来、四半期連結貸借対照表上、「固定負債」の「その他」として表示しておりましたが、「その他」として表示するよりも、個別に表示する方が、表示上の明瞭性を高めるため、第1四半期連結会計期間から、「長期未払金」として表示しております。